

あさひの子

～自分から 自分で～

自ら正しく行う子

大村市立旭が丘小学校 学校だより NO.6

令和7年6月18日 校長 永富 伸介

誰かがやるさの誰かになろう

九州北部も梅雨入りしました。その途端、雨の日が続いてすっきりしない日が続いています。本校では、先週から低水位での水慣れ期間が始まり、先陣を切って3年生がプール開きを行いました。その日は、夏の訪れを感じさせるような日差しのもと子どもたちは担任の指示をよく守りながら水の感触を楽しんでいました。水泳カードの押印や暑さ対策のためのサンダル持参等、保護者の皆様には御迷惑をおかけしました。御協力に感謝申し上げます。



さて、そのプールを安心して使えるようにきれいにしてくれたのが5・6年生です。周辺のごみ拾いや雑草取り、泥まみれになりながらプール槽を磨き上げるなど、今回も教育活動を支援してもらいました。下学年の子どもたちには、なかなか見えない姿だと思いますが、こうした誰かの思いや働きによって自分たちが支えられていることに気付いてくれると嬉しいですね。私は担任時代「誰かがやるさの誰かになろう」と子どもたちに声をかけ続けてきました。目立つ場面でもそうでない場面でも、チャレンジできる人に育ってほしいものです。

学校たんけん

生活科の学習には「学校たんけん」があります。2年生が1年生を案内して、校内の施設の様子を伝えていくという活動です。校長室にもたくさん子どもたちがやってきました。旭が丘小学校では1年先輩の2年生が緊張しながら「校長室はね・・・」と説明する姿や1年生の手を引いて校内を移動する姿は素敵なお兄さんお姉さんそのものでした。きっと来年も、同じような光景が見られるのだと思います。これまでの1年間の育ちの積み重ねが見えるということなのですね。



旭っ子の心を見つめる教育週間

6月25日(水)～7月1日(火)の一週間は旭っ子の心を見つめる教育週間です。命の大切さやメディアとの関わり等、学校、家庭、地域が子どもを真ん中に据えて考えていくために設定されているものです。先にお知らせさせていただいた通り、校長講話、道徳の授業参観をはじめとして教育活動の一部を公開します。御多用の中とは存じますが、保護者、地域の皆様には御来校いただき、旭っ子の姿を御覧になっていただけると幸いです。なお、以下の点について御理解と御協力をお願いいたします。

- 1 御存知のように校内に駐車スペースがありません。徒歩での来校に御協力ください。また、路上駐車、近隣の店舗、駐車場への駐停車は厳に慎んでください。
- 2 来校の際は、シューズやスリッパ等の履物を御持参ください。学校用スリッパの準備はしません。学校用のスリッパは保管数が不足している上に、毎回、多数破れて廃棄しています。加えて、使用後の片付けや廃棄分の分別等で苦慮しているためです。

戦後80年です

5月23日(金)は令和7年度 大村市戦没者追悼式でした。大村市内の小学校が持ち回りで参加しています。今回は本校が参加する年でした。私が引率して8名の6年生と参加してきました。今年は、戦後80年、原爆投下80年となります。代表の方のお話には、常に「若い世代への継承や期待」の思いが込められていました。参加した子どもたちは「戦争は絶対にしてはいけないことが分かった」「もっと勉強しないとイケない」という思いをもったようです。今年度の県民祈りの日は8月9日(土)です。土曜日ですが登校日です。なぜこの日に登校するのか、学校で何を学び、考えるのかを私たち大人も考えていかねばなりませんね。

